

いみずのに拓く

8号

[2014.3.25]

第2回「イクメン・イクジイ・イクバア・カジダン・カジジイ」

写真展開催

9月21日「射水市ボランティアフェスティバル」会場で開催しました。今年は昨年より多くの応募があり、足を止めて、多くの方々がほほえましく見入っていました。

最優秀作品

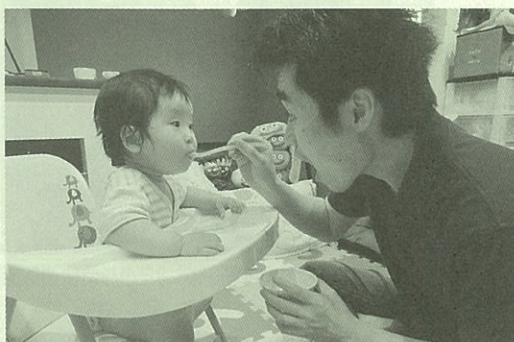
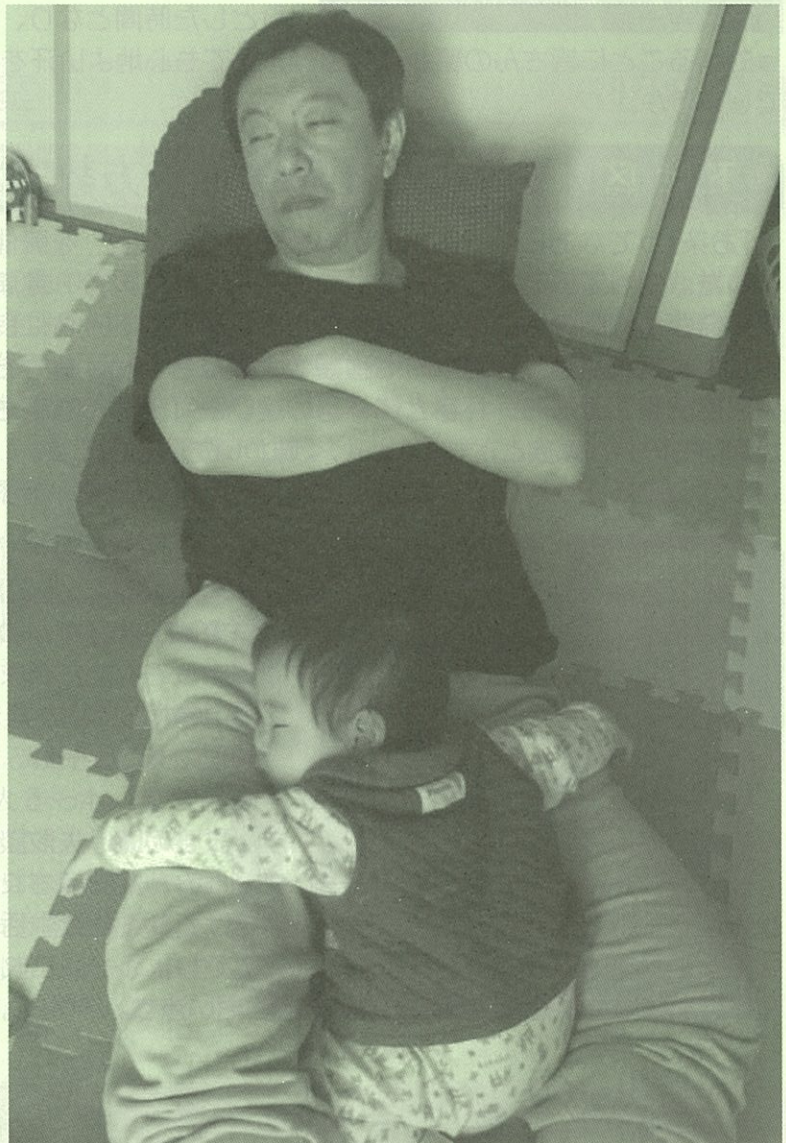
「ぼくの特等席♥」

〈受賞者コメント〉

結婚10年目にして、待望の初孫です。子供の体調の変化はママより先に気づく、たよりになるパパです。最近、「ばあちゃん!!」と呼ぶようになり、メロメロなバアバです。

膝にチョコンと座り、絵本の読み聞かせをせがむ孫との時間は至福のひと時です。

射水市海老江
茅野よしみ(祖母)談



「あ〜んバクツ」

◆優秀作品

四柳美沙



「ババとあそぶのたのしいなあ」

◆優秀作品

北 愛子

地域啓発活動

大島地区

カントリーコンサート

(6月29日)



大島地区では男女共同参画推進事業の一環として、土曜日の午後から大島コミュニティセンターにてカントリーコンサートを開催しました。

黒澤 明さん率いる5人バンド（ユーミンバンド）が、大島地区に初登場。このバンドは歌手ユーミンのコピーバンドで、代表曲の演奏は、懐かしいメロディーがお客さんを包み込み、ゆったりとした時間となり、アンコールでは、全員輪になり、楽しく唄

って踊ることに皆さんの顔がほころび、とても心地よい汗をかき、有意義なひと時になったのではないのでしょうか。

(杉岡美恵子)

下地区

おいしいお茶の淹れ方教室

(7月12日)

『お茶』ってなあに？ “おいしいお茶の淹れ方教室” を開催しました。知っているようで知らないお茶の種類・成分・健康効果！ 発がん抑制のカテキン・老化防止のビタミンE・体に良いアルカリ性食品等々！ 淹れ方も種類や人数に合わせ、量やお湯の温度調整、そして一杯目と二杯目の違い。「一杯のお茶も奥が深いもの」と家族とともにおいしく味わいたいものです。

(島倉 静子)



大門地区

男性料理教室

(8月9日)



対象は、家庭を持つ男性30～50代の幅広い現役パパ達。18名に集まっていただきました。子育て真最中の夏野射水市長にも忙しい中参加していただきました。

料理のメニューは、白エビの唐揚げ、イカめし、ねぎ味噌豆腐の三品です。4～5人一班で分担しながら料理してもらいました。試食の時、失敗談などいろいろな話が聞け、家事は本当に大変だとみんな認識されたようです。このような和やかな会話の中

から性別役割分担意識を見直し、家庭内だけでなく社会生活全般で固定観念を見直し社会生活が出来れば男女共同参画社会が実現するのではないのでしょうか。これからもいろいろな啓発活動を通して、皆さんに男女共同参画社会の意識を届けたいと思います。

(松本 吉晴)

委員会の活動より



5月 越中だいまん凧まつり啓発活動



6月 男女共同参画週間 JR小杉駅街頭啓発

フォークソング「シンガー英樹コンサート」を開催しました。演奏と演奏の間に男女共同参画についての話を織り交ぜて、参加していただいた方に男女共同参画について理解してもらえるいい機会になりました。

アンコールにも応えていただき、楽しいひとときを過ごしました。少し時間がオーバーした分、皆でスピーカーなどの機材の片づけを手伝い、無事に見送ることができ、ホッとしました。

この日、聴けなかった懐かしい曲を、今度ゆっくり聴きたいと思います。



(川田 常雄)



推進委員から男女共同参画社会についての説明の後、「すしの握り方教室」を「寿司竹」店主他、講師二名を迎えて開催しました。

三角巾とエプロン姿もステキな男性の参加者達は、新鮮なネタを目の前にやる気満々ながら、握り酢の加減で、手のご飯粒に四苦八苦。それでも、次第に握れるようになりました。

細巻の切り方や盛り付けにも職人ならではの細工を教わり、仕上げることができました。

自分で作った「上にぎり」を和やかに試食しながら、「是非、家庭で機会をみて握ってみたい」という声が聞かれました。

(松岡 清美)

ボランティアフェスティバル (9月21日)

今年もボランティアフェスティバルに参加して、男女共同参画推進委員の個性豊かな役者が次々と登場して、おもしろ、おかしく演じる寸劇に多くの笑いや拍手をもらい、ありがとうございました。

私達は、その時々話題、要請も取り入れていくことを心掛けています。これからも自分自身で考え行動できるようになるとともに、周囲への感謝の気持ちを大切にしながら、男女共同参画推進委員は、「一人一人はみんなのために、皆は地域のために」をモットーに、皆さんの個々の心の中に残るように頑張っていきます。(前手 政幸)



10月 ふれあいコンサート(小杉ふれあいセンター)



11月 DV防止週間街頭啓発(大島eタウン)



12月 健康講座(本江コミュニティセンター)

研 修 会 報 告

■ 講 演 会 (5月13日)

演題 「男女参画は思いやりの心から」

講師 林 不二男氏 (和楽グループ代表)

総会後の研修会で和楽グループ代表の林 不二男氏をお迎えし講演会を開催しました。

林氏は「一番大切なのは一番長い時間を共にする『家族』であり、家族を大切にできなければ、家族より一緒にいる時間が短い周りの人を大切にできない」と社員教育されているそうです。「ゆずりあい・たすけあい・わかちあい」の気持ちを持って、家族を大切にすることが男女参画につながるということに参加者全員、共感していました。楽しいトークで1時間の講演があっという間でした。



■ DV相談研修会 (1月24日)

講師 ウィメンズカウンセリング富山

フェミニストカウンセラー 梶座 久子氏

小林 涼子氏

内容 「DVとは何か～そのとらえ方と対応～」

DVに関する相談を受ける場合は、①主訴(相談者の言葉で)②見立て、悩みの背景③相談者にDVをどのように説明するか④課題・方針⑤二次加害(相談者を傷つける、援助を断ち切る)これらのポイントについて事例を挙げて学習した。そして、相談を受ける場合は「思い込みで聞かない、見た目で判断しない、支持・指示、相手の背景を知ろうとする姿勢が大切である」と話された。



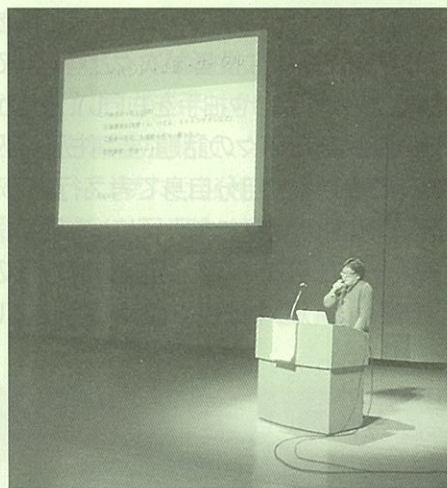
(瀬山 和子)

■ 富山県男女共同参画推進員地域別研修会 (2月23日)

演題 『コミュニティハウス』の実践から見えてくるもの

講師 宮田 隼氏 (コミュニティハウスひとのま共同代表)

講師の宮田先生は、塾の講師時代の体験から、もっと子供の話を聞きたい・相談相手になりたいと“寺子屋みやた”を開設。さらに人と繋がりたいと昼の空いている時間を使って“コミュニティハウスひとのま”といういろいろな人が自由に使うための一軒家を提供。利用者の中に「社会の波に乗り遅れた」と感じている人がいることに注目。よく話を聞いてみると、原因の一つに“DV問題”があるのではと思うことが多いとのこと。DV被害者本人はDVに気がついていないことが多く、いろいろな人からのアドバイスを受けるためにも、外の人と多く関わるのが大事である。そして、多くの人が“モラハラ”について敏感になって、DV被害者に正しくアドバイスできるようになってほしいと、強く訴えられた。(高波 敏子)



編集後記

「老若男女」とは、言い尽くされた言葉かもしれませんが、老人も若者も、男も女も含む、あらゆる人々という意味でのこの4文字にも、「男女」の言葉が入っているのに、これに「共同参画」と付くと、(平成9年の設置法から平成11年の改正法に至るまで、法律で制定推進されましたが)まだまだ発展途上であり、「あたりまえ・あらゆる人々」へ、という段階に至っていないようです。推進委員のスタッフも「あらゆる人々」に「我が事・あたりまえ」を実感し、言い尽くされた言葉と理解してもらえるよう、寸劇や様々な啓蒙活動を行い、この紙面でもその一部をご紹介します。「老若男女」の皆様には是非とも「あたりまえ」への共助を今後ともお願いします。(長徳 一)